

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひまわり児童ファーム・はくくみ

公表日 令和7年3月25日

利用児童数 2025/3/20 60

回収数 25

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			8		わからないのご意見が多くありましたので児童指導員とドライバーの人数をお知らせしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		9		わからないのご意見が多くありましたので懇談時にお子さんにとってどのように構造化しているのか説明する機会をもつようにいたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	2		2		日頃から整理整頓を心がける様にとともに子どもたちにもわかりやすいように遊具や生活備品の配置を考慮するようにします
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27					指導員として子どもの特性を理解して専門知識を学んで支援にいかして参ります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25			2		プログラムの支援内容を公表するようにいたします
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		2		ガイドラインの提供すべき支援内容が「本人支援」「家族支援」「移行支援」であるのか項目ごとに詳細を表していくようにいたします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1				プログラムが固定化されないように創意工夫していきます
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	7	2	14		地域での子どもたちとの交流の機会を作っていきます
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22			5		「放課後等デイサービス計画」について詳細を説明するようにします
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2		8		研修会、イベント等の情報のお知らせの機会を増やしていきます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	26	1				子どもの健康状態や発達状況についてスタッフ間で共通理解ができるように情報を共有いたします
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	14		定期的に保護者会の開催、きょうだいへの支援としてイベントを企画いたします
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	2		ご家族からの相談に対して迅速に対応できるように事業所全体で協力体制を構築していきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1	2		保護者と子供たちとの意思疎通ができるように環境を考慮していきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21		5		保護者への業務について、自己評価などの発信については定期的に行っていきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	1		個人情報については取り扱いについて配慮してまいります
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23		4		各マニュアルについて周知、説明させていただきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	4		プログラムに防災訓練を行っていますが機会を増やしていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1	3		安全、安心を心がけて活動させていただきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1	2		事故（怪我、体調不良など）保護者の方に迅速に連絡させていただきます
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1			安全、安心を心がけて活動させていただきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	1		子どもたちが楽しいと言ってもらえるように努めて参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				プログラムと支援内容を充実していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわり児童ファーム・はぐくみ				公表日	令和7年3月25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		その日の利用者の特性やプログラムに合わせて部屋の使い方を工夫している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの特性に合わせて職員の配置を考慮している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの特性に合わせて支援方法を工夫して安全に過ごせるように配慮している	子どもの支援について行動を分析して合わせた環境作りができるようにスタッフ間の連携を都度もつようにしていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子供たちの特性に応じた空間をつくり安心して過ごせるように工夫している。	子どもの特性についてさらに環境を整えていくようにスタッフ間の連携を強化していきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子供たちの特性に応じた空間をつくり安心して過ごせるように工夫している。	子どもの特性についてさらに環境を整えていくようにスタッフ間の連携を強化していきます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		子どもの特性と支援内容を把握して話し合うミーティング持つようにしている	ミーティングの機会と連携を強化していきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		個別面談で保護者からの意向があった場合スタッフ間で共有している	面談以外の時に保護者からの意向に対して迅速に対応します	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		スタッフからの報告、連絡、相談の機会を持っている	スタッフからの報告、連絡、相談の機会を十分とるようにしていきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価として研修を予定している	外部の研修を増やすようにしている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部、内部の研修に参加する機会を作っている	研修の機会を増やしていく	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			HPIに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			子供たちの個々のニーズや課題をスタッフ間で分析して話し合い支援計画を作成する	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			子供たちの個々のニーズや課題をスタッフ間で分析して話し合い支援計画を作成する	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			子供たちの個々のニーズや課題をスタッフ間で分析して話し合い支援計画を作成する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			応用行動分析等を適応して支援計画を行い評価したこと共有している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			相談支援事業所、学校、病院、家庭等と子供の支援について話し合う機会を持ち支援内容について共有して支援計画を作成し実践している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			個々と集団活動を組み合わせた活動を行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			自己選択を尊重して自己決定できる力を育てるように関わり方に配慮している
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			関わりのある者が参画している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			連携している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			随時行っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			支援会議等で行っている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の活動、イベントに参加する機会をもつようにする
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			生活部会の会長、子ども支援ワーキングに参画している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			面談や送迎時、事業所迎え、連絡帳、メール等で行っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアトレの研修の情報を提供しているがさらに知ってもらえるように周知していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			さらに丁寧伝えていくようにしていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			機会を設けている

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			同意をえている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			助言と支援を行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		家族が交流できる機会を企画する
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			都度行っている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			lineを使用している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			十分配慮するように努めている
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			自立支援協議会が主催するイベントに参加している
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルの見直しを行い保護者への周知を考えている、訓練を実施している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			都度見直し備蓄なども変更している、訓練を実施している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			保護者への聞き取りと職員研修を実施している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画の作成と見直しを進めている
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットについて情報を共有し再発防止に努めている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			年2回実施している
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわり児童ファーム・はぐくみ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和7年3月7日		～ 令和7年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人の発達段階、発達心理を重視して表現力を向上できるように本人との関係性の構築、学校での取り組み等の連携、家庭での過ごし方生活様子等の連携するように取り組んでいます	本人の発達段階、発達心理を重視して表現力を向上できるように本人との関係性の構築、学校での取り組み等の連携、家庭での過ごし方生活様子等についてさらに連携するように取り組んでいます	本人の発達段階、発達心理を重視して表現力を向上できるように本人との関係性の構築、学校での取り組み等の連携、家庭での過ごし方生活様子等についてさらに連携するように取り組んでいます
2	生活スキルを向上するため経験することを重点的に考えてプログラムに取り入れています	調理をする機会を持ち、食育、調理の経験、周りとの調理の為の連携、新しい経験のチャレンジ、個々で取組場合と全員で取り組むことでコミュニケーションを図ることができるように取り組んでいます	積み重ねていくことで、将来の生活スキルの向上が自立の意識に繋がるように、取り組んでいます
3	保護者への支援について、定期ごとの個人面談を実施しているとも電話相談、SNSなどで個別の相談に応じています	子ども、ご家庭が抱えている問題点があれば一緒に考えていくように取り組んでいます	コロナ禍などで保護者会等集まる機会が少なかったが、保護者会やイベント等の機会を増やしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケートの結果から災害マニュアル等について周知できていなかった	プログラムの中に防災訓練を取り入れることや災害時の対応マニュアルなど各マニュアルについてわからないとの回答が多かったので周知出来ていないので発信方法に問題があると考えられます	保護者に知ってもらえるように面談時に詳しく説明したり、ホームページに掲載していることを保護者に知ってもらえる機会を増やすように工夫していきます
2	コロナ禍以前は利用されている子どもたちとご家族を対象としたクリスマス会や人形劇などのイベントを企画してきたが、コロナ禍で人が集まることに抵抗のある保護者もあり企画できなかった	現在のコロナ禍後の社会状況を踏まえて子供たちとご家族へのイベントの内容を工夫して考えて企画していきたいと考えています	コロナ禍以前に比べると保護者との関わりが、電話であったりメールすることが多くなってきたので、保護者との関わりについて直接会う機会を増やしていきます
3			